

平成 30 年度の事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで

認定特定非営利活動法人日本心血管協会

1 事業の成果

認定特定非営利活動法人日本心血管協会は、心臓血管系疾患の薬物療法の研究及び医療従事者への教育、ならびに心臓血管疾患についての一般市民への啓発と予防に関する事業を推進し、国際交流を深めることにより、我が国における心臓血管系疾患の予防医学及び薬物療法の進歩普及に貢献し、国際的レベルでの国民の健康増進及び医療の発展に寄与することを目的とする。この目的達成のため、初年度の平成24年度は特定非営利活動法人国際心血管薬物療法学会日本部会の協力体制を確立、2年目の平成25年度は活動を順調に軌道に乗せ、3年目の平成26年度はこれまでの活動を活発化させたが、4年目の平成27年度はさらに規模の大きい活動を行い、以降、平成28年度から平成30年度においても同様に活動を行った。具体的にはホームページの充実、市民公開講座の開催により一般市民に心臓血管疾患の現状と薬物療法の大切さを啓発する活動を行い、さらに医師や薬剤師などの医療関係者に適正な心血管薬物療法に関する教育・研修と、心血管薬物療法のさらなる発展のための基礎的・臨床的学術情報の交換を目的に学術集会を実施した。また個人会員および賛助会員の募集を行い、会誌「心血管薬物療法」第七巻の発刊により、医療従事者への情報発信を行った。また医師の適正な薬物療法の教育研修のため、国際心血管薬物療法学会に参加発表し討論すると共に、国内で研修会・研究会を開催した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数
心臓血管系疾患の薬物療法に関する学術集会、研究会、教育研修会及び市民公開講座の開催	患者さん及び一般市民への普及活動の一環として第十四回及び第十五回市民公開講座を開催した。 医師や薬剤師などの医療関係者に適正な心血管薬物療法に関する教育・研修と、心血管薬物療法のさらなる発展のための基礎的・臨床的学術情報の交換を目的に、第二十三回国際学術集会を開催した。	(A) 第十四回市民公開講座 ：平成 30 年 9 月 17 日 第十五回市民公開講座 ：平成 31 年 3 月 17 日 第二十三回国際学術集会 ：平成 30 年 5 月 26, 27 日 研究会:代謝と心血管疾患 ：平成 30 年 8 月 9 日 研究会：肺・腎・心血管疾患 ：平成 31 年 2 月 9 日 (B) 第十四回：京都テルサ テルサホール（京都） 第十五回：コンパルホール 文化ホール（大分） 第二十三回国際学術集会： ザ・リッツカールトン京都（京都）	(D) 市民公開講座 一般市民 学術集会・研究会 医師・薬剤師 ・医療関係者 (E) 第十四回 ：200 名 第十五回 ：200 名 第二十三回国際 学術集会：200 名

		<p>研究会：代謝と心血管疾患 ：メルバルク京都 6 階会議室C (京都)</p> <p>研究会：肺・腎・心血管疾患 ：TKP ガーデンシティ京都 (京都) (C)</p> <p>第十四回： 10 名 第十五回： 10 名 第二十三回国際学術集会：40 名</p> <p>研究会：代謝と心血管疾患 10 名</p> <p>研究会：肺・腎・心血管疾患 10 名</p>	<p>研究会：代謝と 心血管疾患：100 名</p> <p>研究会：肺・腎・ 心血管疾患：100 名</p>
心臓血管系疾患の薬物療法に関する情報提供及び情報伝達の為のホームページ運営事業	<p>心血管薬物療法に関する総説や、国内外臨床試験結果、基礎及び臨床研究論文、薬品安全情報などの紹介を行うため、会誌「心血管薬物療法」創刊号を発行、会員及び学術・医療関係者に配布を開始した。</p>	<p>(A) 平成 30 年度の年 1 回 (B) 事務局 (C) 11 名</p>	<p>(D) 心臓血管系疾患の薬物療法に関わる医師・薬剤師など学術・医療関係者 (E) 1000 名</p>
	<p>ホームページにて一般市民に心臓血管系疾患の薬物療法に関する情報を発信すると共に、国内外臨床試験結果、基礎及び臨床研究論文、薬品安全情報などの紹介し、個人会員および賛助会員の募集を開始した。</p>	<p>(A) 通年 (B) ホームページ (C) 11 名</p>	<p>(D) 一般市民及び心臓血管系疾患の薬物療法に関わる医師・薬剤師など学術・医療関係者 (E) 不特定多数</p>